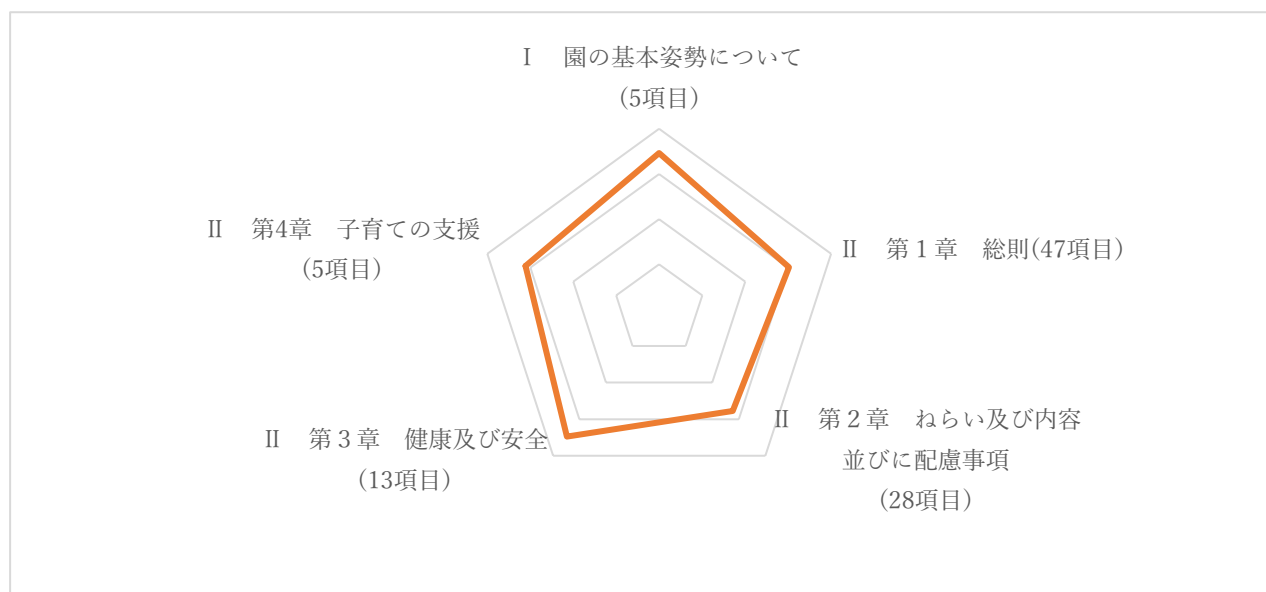


2025年度 聖隷こども園夢舞台 職員18名に対して自己評価を行った結果



良かった点・成果

健康及び安全

健康状態や発育及び発達の状況の把握

	園の取り組み	成果
園児の心身の状態に応じた教育及び保育を行うために、園児の健康状態や発育及び発達の状況について定期的・継続的に把握している。	定期的に職員会を開き、園児の様子を話し合い、把握する場を設けている。どの職員も子どもの様子を把握し、その子に応じたかかわりができている。	担任ではない職員がクラスに入っても戸惑うことなく一人ひとりに合ったかかわりができている。この事により、子どもたちも落ち着いて生活ができている。

疾病等への対応

	園の取り組み	成果
感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生の疑いがある場合には必要に応じて、園医や市町村、保健所に連絡し、その指示に従うと共に、保護者やすべての職員に連絡し予防等について協力を求めることを知っている。	職員会議をその都度設け、対応の仕方や、流れなどを周知し、どの職員も同じ対応ができるようにしている。	統一した対応ができているので、保護者も戸惑うことなく、予防に努めてくれたり、必要に応じて休みを取ってくれたりしている。
アレルギー疾患を有する園児に関しては、保護者と連携し、医師の診断及び指示に基づき、適切な対応を取ると共に、食物アレルギーに関して、関係機関と連携して、自園の体制構築など、安全な環境の整備を行っている。	アレルギー対応は、保護者、担任、看護師、調理師が連携して話し合う場を設けている。また、全職員が「エピペン講習」に参加し、実際のアナフィラキシーが起こった際に、個々の職員が対応できるようにしている。	統一した書類への記入、保護者対応ができているので、困惑することはない。調理師や各クラスの担任とのダブルチェックを行うことにより、誤食、誤飲は防ぐ事ができている。

食育の推進

	園の取り組み	成果
<p>健康な生活の基本としての食を営む力の育成に向け、その基礎を培うことを目標とし、園児が生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しむ合う園児に成長していくことを期待するものであることを知っている。</p>	<p>2025年度は、「食育」を見直し、淡路エリアの管理栄養士、委託業者(日清)の管理栄養士も入り、給食会議を行った。また、管理栄養士にも入ってもらい、食育教室の開催、各クラスのクッキングなども行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食育教室を行うことにより、食べることの大切さ、食品にはいろんな栄養素があることを知ることができた。また、調理をしてきている人たちに感謝の気持ちを持つようになった。 ・目の前で調理を行うことにより、五感が刺激され、食への関心が広がっている。

事故防止及び安全対策

	園の取り組み	成果
<p>事故防止の取り組みを行う際には、特に、睡眠中、プール活動・水遊び中、食事中等の場面では重大事故が発生しやすいことを踏まえ、園児の主体的な活動を大切にしつつ、施設内外の環境の配慮や指導の工夫を行うなど、必要な対策を講じている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡時はチェックリストを作っている。5分ごとに子どもを確認し、乳幼児突然死症候群が起こらないようにしている。 プール・水遊びに関しては担任のほかに必ず監視役(1名～2名)をつけ、危険をすぐに察知できるようにしている。 ・園内ではヒヤリハット・事故報告書があり、何かあった時は必ず記入している。常に見えるところに置き、職員が確認できるようにしている。 研修にも参加し、予防の仕方、気をつけるべき点など学び、スキルアップにつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がヒヤリハット、事故報告書を確認することにより、防ぎ方など園全体で話し合い、予防対策ができるように努めている。 ・常に何かあるかもしれないという気持ちを持ち、保育をすすめている。

災害への備え

	園の取り組み	成果
<p>火災や地震などの災害の発生に備え、危険など発生時対処要領を作成する際には、緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画などの事項を盛り込み、定期的に避難訓練を実施するなど、必要な対応を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP作成している。 月に一回避難訓練は行っている。毎回想定を変え、どんな時にでも対応できるようにしている。また、1年に1度消防署との総合訓練を行い、指導を受けている。 ・職員間で勉強会を行ったり、研修に参加したりしながら常にスキルアップにつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが緊張感をもって取り組むことができている。 ・一人ひとりが柔軟に考え、広い視野が持てるようになってきている。 ・職員が落ち着いていることにより、子どもたちも慌てず、行動ができている。

	園の取り組み	成果
地域における子育て家庭の保護者などに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日園庭開放。 ・2か月に1回子育てイベントを行い、交流の場を設けている。 ・一時預かり事業と共に「誰でも通園制度」も行い、未就園児がいるご家庭の支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放であそびに来たり、イベントに参加したりすることにより、保護者同士の輪が広がり、気分転換にもなっていると声があった。 ・誰でも通園でも、「病院に行きたい」「用事を済ませたい」などの保護者の要望に応えられているのではないかと思う。また、園の雰囲気も分かるので、入園にもつながっている。

2025年度は、職員が研修等によく参加し、資質向上を目指した。研修で学んだことを職員間で共有し、即実行、即対応を目指せたのではないかと思う。「これで良い」で終わるのではなく、「更によくするにはどうすれば良いか」と一人ひとりが考え、進んでこれた1年だった。

来年度には園内にて新事業が始まる。これまで以上に職員間で連携をとり、子どもたちが過ごしやすい環境を整えていきたい。

引き続き、資質向上を目指し学ぶこと、また、保護者の方、子どもたちに満足して過ごしてもらえるよう努力していきたい。